

フットサルとサッカーのGKの違いとフットサルのGKに必要なスキル

Difference between goalkeeper of futsal and goalkeeper of soccer and the skill that is necessary for goalkeeper of futsal

1K04B011-1

安藤 貴男

指導教員

主査 宝田雄大先生

副査 堀野博幸先生

【緒言】

「ゴール・キーパーは、チームの中で最も重要な選手である。ゴールキーパーが優秀でなければ、試合に負けることもある。優秀であれば、味方に自信を与え、力以上のプレーをさせるようになる。」「優れたゴールキーパーは、チームの後ろ盾となり、1人で試合を決定づけることも出来る。その一方で、背番号1のたった一つのミスで一瞬にして敗北へと至ってしまうこともある。」などGKがいかに重要なポジションであるというのかが分かる。それにもかかわらず練習や指導の観点からは、GKは最も軽視されているポジションと言える。日本では、1998年8月、(財)日本サッカー協会技術部の中にGKプロジェクトが設置され、「GKのタレントの発掘と育成」、「各年代別代表GK選手の強化」、「GKの指導および指導者の育成」の3つを主目的として今日まで活動している。そして今では各地域でGKプロジェクトが増えてきてはいるが、まだまだ個々のチーム単位で見るとGKのトレーニングにまで目が届かないのが現状である。そして私自身、大学からフットサル競技を始めたが、サッカーも並行して競技してきたため、動きやプレー、競技性の違いから、上のレベルにいけばいくほどプレーに支障をきたす場面が多く出てきた。

そこで本研究では「フットサルのGKとサッカーのGKの違い」という観点から分析を行い、その違いを明らかにし、フットサルのGKに必要なスキルは何か。どのような練習方法が必要なのか。を分析結果から考察していくことによって、自身の今後のフットサルの競技力の向上と、またフットサルのGKの指導に活かすことが出来るのではないかと考えたため、本研究を計画した。

【研究方法】

サッカー・フットサルの試合をビデオテープ、DVDプレーヤーに録画し、分析項目ごとにプレーを止めながら私案の記録用紙に記入し分析をおこない、フットサルとサッカーのGKのプレーの質について検討し、上記の目的についての考察(フットサルのGKのトレーニングメニュー等)を行った。またフットサルとサッカーとの競技規則の違いについて分析し、それがプレーに影響を与えるかどうか調査した。

【結果・考察】

フットサルとサッカーのルール・競技規則の違い、それに伴うコート大きさ、ペナルティーエリアの大きさ、ゴールの大きさの違いから、フットサルのGKは高い足元の技術と判断力が優れていなければならないことが分かった。『バックパスの処理』に対して特に当てはまる事項である。

『セービングについて』、フットサルのGKは足と胴体でのセービング数がサッカーのGKに比べて多いことが分かった。

そしてフットサルのGKは『キーパーのシュート』の44回から見て取れるよう、自らシュートを打つ機会がサッカーと比べて圧倒的に高いという結果が出た。

また、『アシストのケース』ではGKスローから得点を導き出せることも分かり、『キーパーのシュート』と同様で、フットサルのGKは攻撃の一端を大きく担っていることが分かった。

【まとめ】

多くの角度からフットサルのGKとサッカーのGKの違いについて分析し、様々な可能性が示唆された。しかし、分析研究はあくまでも、分析によってこういう傾向があるということだけであり、それが全てであると考えるのはならない。また分析結果によって得られた事実というのは、常に変わりえるものである。なぜなら、年々フットサル・サッカーは進化し続けているからである。しかし、根本にあるもの(フットサルとサッカーの基本軸)は変わらない。指導するにあたって分析データを用いる場合には、その基本がとても重要となる。結果だけを伝えてしまうと、選手側が考えてプレーしなくなり、いろんなシチュエーションに適応できなくなる。そのようなことが無いよう結果だけにとらわれないことが重要であり、分析結果はあくまで可能性の一つであるということを指導する側は認識しておくことが重要である。分析データを指導に活かすには、これらの点に注意することによって、大きな成果が得られると考えられる。

そして私自身、トップレベルのプレーを解析することにより、今まで曖昧になっていた点を明らかにすることができ、今後のフットサルにおけるプレーの質に微力ながらも影響を与えることができると信じ、また多くの他のフットサルのGKの成長に一役買える研究であったことを願っている。

